

【シラバス I】 令和 8 年度 学習計画・学習評価計画

教科名	国語	科目名	論理国語			単位	2
学年	2 年	組	全クラス共通	担当	芹川、野中、前田		
教科書	<p>【教科書】『論理国語』（筑摩書房）</p> <p>【副教材】『トータルサポート新国語便覧』（大修館書店）</p> <p>『語彙力をつける 入試漢字 2600』（筑摩書房）</p> <p>『ちくま評論選』（筑摩書房）</p>						
目的と目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 ・ 論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養う。 ・ 他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思いや考えを深める。 ・ 生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 						
コンピテンシー	<p>○活用する力【言語活用】【情報活用】 ●伝える力【説明力】【表現力】</p> <p>●考える力【論理的思考】【批判的思考】 ◎自律する力【自己認識】</p>						
授業と学習について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な文章をもとにして、多角的な視点で思考します。定期考査では学んだことや思考したことを生かして記述する問題が出題されます。 ・ 授業で学んだことを、自らの「力」として身に付けられるように、予習・復習、発展学習に励んでください。 						

主に用いる評価の観点

	単元・学習内容	知識 技能	思考 判断 表現	主体 学習 態度	補足事項
4 月 5 月	・ 「生物の作る環境」（日高敏隆） ・ 考査	○	○	○	[読む] [書く]
6 月 7 月	・ 「トリアージ社会」（舟木亨） ・ 考査	○	○	○	[読む] [書く]
8 月 ～ 12 月	・ 「日本文化私観」（坂口安吾） ・ 「近代の成立——遠近法」（橋爪大三浪） ・ 考査	○	○	○	[読む] [書く]
1 月 2 月 3 月	「『である』ことと『する』こと」（丸山眞男） ・ 考査	○	○	○	[読む] [書く]
<p>その他</p> <p>※扱う教材や単元の変更がある場合もあります。</p> <p>※補足資料として、様々な文章を扱います。</p> <p>※国語力を総合的な力として捉えて評価します。</p>					